

とみWA!

富山大学ダイバーシティ推進センター
NEWSLETTER



女性活躍推進法に基づく 女性の活躍に関する情報公表

本学では、女性活躍推進法に基づき、女性の活躍に関する情報公表を行っています。情報を公表することにより、本学の現状を客観的に把握するとともに、課題の見える化や継続的な改善につなげ、研究者や職員が安心して働ける環境づくりを推進していきます。なお、掲載の数値は、本学の令和8年5月1日時点のものです。



情報公表Webページ

職員に占める女性の割合

事務系職員	技能職員	教育職員(大学)	教育職員(附属学校)	医療技術職員	看護職員	契約職員	パートタイム職員
54.1%	52.2%	21.9%	41.0%	52.6%	93.7%	57.6%	75.6%

(令和6年度：18.7% 令和7年度：20.5%)

国立大学協会による第22回『国立大学における男女共同参画推進の実施に関する追跡調査』において、富山大学は令和6年度から令和7年度での女性教員比率の伸び率が**全国7位**(区分：総合大学)として取り上げられました。

管理職(部局長・学科長等)に占める女性の割合

17.4%
(うち事務系〔課長以上〕比率22.5%)

役員に占める女性の割合

10%

令和7年度 育児休業取得率

※次ページに詳細あり

男性	女性
83.8%	99%

育児休業取得率（令和7年度）詳細

令和7年度の育児休業取得率は、男性が83.8%、女性が99%と、本学行動計画の目標を大きく超えて達成しました。育児中の職員の頑張りはもちろん、周囲の皆さまのご理解とご協力があったのと思います。育児中の職員に限らず、誰がいつ休暇や休職となってもカバーできる仕組みづくりが求められます。属人化の見直しや業務進捗の共有といった仕組みの面だけでなく、上長や同僚との日ごろからの会話もとても重要です。

(男性)	R4	R5	R6	R7
事務系職員	36.4%	75.0%	100.0%	112.5%
技能職員	—	—	—	—
教育職員（大学）	6.3%	14.3%	27.3%	63.2%
教育職員（附属学校）	25.0%	—	12.5%	200.0%
医療技術職員	25.0%	0.0%	40.0%	100.0%
看護職員	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%
契約職員	25.0%	28.6%	12.5%	0.0%
パートタイム職員	0.0%	0.0%	0.0%	—
※令和7年度の男性育児休業取得率（全体）：83.8%				

(女性)	R4	R5	R6	R7
事務系職員	90.0%	100.0%	85.7%	108.3%
技能職員	—	—	—	—
教育職員（大学）	75.0%	66.7%	100.0%	114.3%
教育職員（附属学校）	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
医療技術職員	100.0%	100.0%	100.0%	90.9%
看護職員	94.6%	98.0%	108.5%	94.6%
契約職員	81.8%	93.8%	100.0%	110.0%
パートタイム職員	100.0%	100.0%	200.0%	100.0%
※令和7年度の女性育児休業取得率（全体）：99%				

※算出条件（算出方法の関係上、100%を超える場合がある）

$$\frac{\text{当該年度に育児休業を取得した者（出産日は問わない）}}{\text{当該年度に出産した者（育児休業の開始日は問わない）}} \times 100(\%)$$



本学の育児両立支援制度やお役立ち情報等をまとめたハンドブックおよび男性育児休業取得者インタビュー集も、ぜひご一読ください。また、「富大パパ“ほっ”と一息タイム」にもぜひご参加ください。



富山大学学長賞 第10回未知に挑む女性研究者賞 および 富山大学女性研究者対象助成金制度のご案内

本学では、国内外で当該研究分野を牽引していくスキルを備えた人材育成を目指し、女性研究者の顕彰および助成を行っています。日々研究に励まれている皆様の、積極的なご応募を期待しております。

【富山大学学長賞 第10回未知に挑む女性研究者賞】

応募対象：本学に在籍する女性研究者および本学大学院に在籍する女子学生
 顕彰：（女性研究者部門） 研究助成費10万円、表彰状、アクリル盾
 （女子学生部門） 図書券5万円、表彰状、アクリル盾

【女性研究者対象助成】

- ・成果公開費助成金
- ・国際シンポジウム企画・開催助成金
- ・国際学会参加費助成金（博士課程の女子学生も対象）

応募期限 8月27日（木）17時

Smart Café Premium

～部局長と女性研究者の語らいの場～ を開催

「Smart Café Premium」とは、執行部と研究者双方の気づきと意識改革を促すことを目的として開催される、各部署の執行部と女性研究者による語らいの場です。

令和3年度ぶりとなるSmart Café Premiumが、各学部にて開催されています。教育・研究・職場環境づくりに関する現状の課題と今後必要な取組みについての多角的な意見交換が期待されます。

前期（4～7月）に実施したもの

実施学部	実施日	参加者
人文学部	6月2日	伊藤人文学部長 女性研究者3名
理学部	6月23日	松田理学部長 女性研究者3名
工学部	6月16日	大路副工学部長 女性研究者2名
医学部	7月1日	中川医学部長 女性研究者9名
芸術文化学部	4月30日	沖芸術文化学部長 女性研究者9名



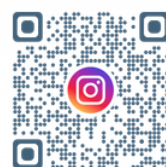
※教育学部、経済学部、都市デザイン学部、薬学部は後期（10月～3月）に実施予定です。

参加者の声

- ・常態化してしまっている問題点を掘り起こしてもらえたことがありがたい。一人で諦めてしまっていた。
- ・学部長や委員の先生も真剣に耳を傾けてくださっていました。
- ・執行部の方々は遠くの存在で、気軽に話してはいけないとの思い込みが払拭された。
- ・一人講座で、何もなければいつも一人で仕事をするようになってしまうので、他の講座の先生方のお話を聞いたこと、顔見知りになったこと自体がありがたかった。

富山大学女子学生チーム「スマート・ポリネーター」任命式 を開催

理工系女子を増やすことを目的として活動を行う「スマート・ポリネーター」に、理学部、工学部、医学部、理工学研究科、医薬理工学環に所属する計11名の女子学生が任命されました。受命者は、自らの研究内容や学生生活の紹介、理工系分野で活躍するOGらを招いた講演会・座談会の企画・開催、イベントでの科学体験ブースの出展など、学部生や中高生に向けて科学の魅力や研究の面白さを伝える活動を行う予定です。



活動はInstagramで
ご覧いただけます

若年性認知症当事者のおはなし会 を開催 2026年6月29日

若年性認知症当事者である丹野智文さんをお迎えし、ご自身の経験や日々の生活、認知症とともに生活する中で感じていることなどについてお話しいただきました。

参加者は、当事者ならではの率直な思いや生活上の工夫、周囲との関わりについて熱心に耳を傾け、認知症への理解を深める貴重な機会となりました。

講演後の質疑応答では、参加者から多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。「認知症に対するイメージが変わった」「今までの価値観が良い意味で壊れ、支援のあり方について改めて考えるきっかけとなった」などの感想が寄せられました。



本学の介護両立支援制度やお役立ち情報等をまとめたハンドブックも、ぜひご一読ください。

お知らせ

令和8年度ダイバーシティ・シンポジウム を開催します

日 時：2026年9月24日（木）
14:00～16:00

形 式：対面のみ

対 象：本学教職員、学生、一般

講 師：伊与原 新 先生
(直木賞作家、元富山大学理学部助教)

今年度のダイバーシティ・シンポジウムは、2025年第172回直木三十五賞を受賞した、伊与原 新先生による特別講演です。

伊与原先生は、2003年から2011年まで富山大学理学部において助教を務められていました。研究者としての経験と、作家として多様な人間像を描いてきた視点の双方から、「多様性とは何か」「異なる価値観が交わることの意義」について考察いただきます。また、科学の探究が持つ面白さや創造性、試行錯誤の過程にある魅力についても触れ、伊与原作品特有の世界観をひもといいただきます。



※参加お申込は当センターHPより（ページ右下QRコード）

